

# INSIGNIA OF THE UNITED STATES ARMED FORCE

## ミリタリーインシグニア

Cover Illustration  
M. Kelly (Satoshi Okada)  
© WORLD PHOTO PRESS 2022  
※本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

### CONTENTS



ベトコンを探せ!  
004 NIGHT HUNTER OPERATION Part 2

028 ベトナムを遠く離れて——。  
私的ベトナム戦争映画/TVムービー Part 13 文/小倉徹

030 解放戦線とは何者だったのか Part 2

まだ語られていない  
036 LST船員の記録 第11回  
UNTOLD SEAMAN BLUES

046 第49回 サイゴン物語 Saigon Memories  
記者たちのベトナム戦争 [26]

いつも時代の憧れだった——。  
050 ミリタリーサープラス  
カタロググラフィティ①

The Equipments of the U.S. Force **番外編!**  
059 [現用米軍装備カタログ]  
1990年代ハリウッド映画に見るH&K MP5装備特集  
解説/松原隆 撮影/山崎学

068 Militaria Roundup!  
WW2ドイツ空軍ユニフォーム Part 3

074 ウェスタンアームズ新製品リポート  
by SHOTGUN MARCY  
●コルト・ガバメント スネークマッチ1911  
●ベレッタ M1934 CBHWバージョン

082 トイガンニュース  
●TANAKA WORKS 三八式歩兵銃 Ver.2  
ブラック/鬼胡桃仕様

083 東京マルイ新製品リポート by Tomo Hasegawa  
●次世代電動ガン URG-I 11.5インチ ブラック

088 新製品情報 COMBAT mono

月刊 THE グリーンベレー 文/DJちゅう  
089 GREEN BERET  
「月刊グリーンベレー」と僕

ニッポンのちからこぶ ●写真と文/菊池雅之  
096 P-1 哨戒機

ボスゲリラ不屈のトイガン魂!  
100 サバゲ・マスカラ・コントラ・マスカラ!

102 サバゲ三等兵APS部  
本大会直前!  
練習よりの神頼みの巻

### COMBAT FRONT LINE

- 107 今月中田焦点! セスラー チノパンツ  
ヘリコンテックス ローグフーディ
- 108 新作映画情報「湯きと偽り」「ソングバード」  
「アフター・ヤン」
- 104 第24回 Stringer Blues 写真・文/横田 徹
- 106 レアミリタリーテクノロジー
- 109 読者PRESENT & CIC
- 111 奥付&次号予告



### ミリタリースポッター

## “London Bridge is down”- the code phrase of “Operation London Bridge.” Queen Elizabeth II passed away at the age of 96 on 8 September 2022.

According to the plans set forth in “Operation London Bridge,” the funeral is under taken place exactly 10 days after her passing. Day-3, Her Majesty’s coffin was carried on foot by pallbearers and lay at rest in St. Giles’ Cathedral.

UK MOD © Crown copyright 2022

「ロンドン橋が落ちた」とは、「ロンドン橋作戦」のコードネームである。この言葉が発せられるのは、イギリス女王が死去した時である。それが起きた。エリザベス女王は2022年9月8日に96歳で崩御した。作戦指示書のデイ3事項にしたがい、女王の棺はスコットランドのセント ジャイルズ大聖堂に安置され、女王を尊崇する人々から別れの挨拶を受けた。

ベトコンを探せ!

# NIGHT HUNTER Part 2 OPERATION

「ファイヤーフライ」がデルタを  
昼を欺く光の洪水に変え  
チャーリーを縮み上がらせる

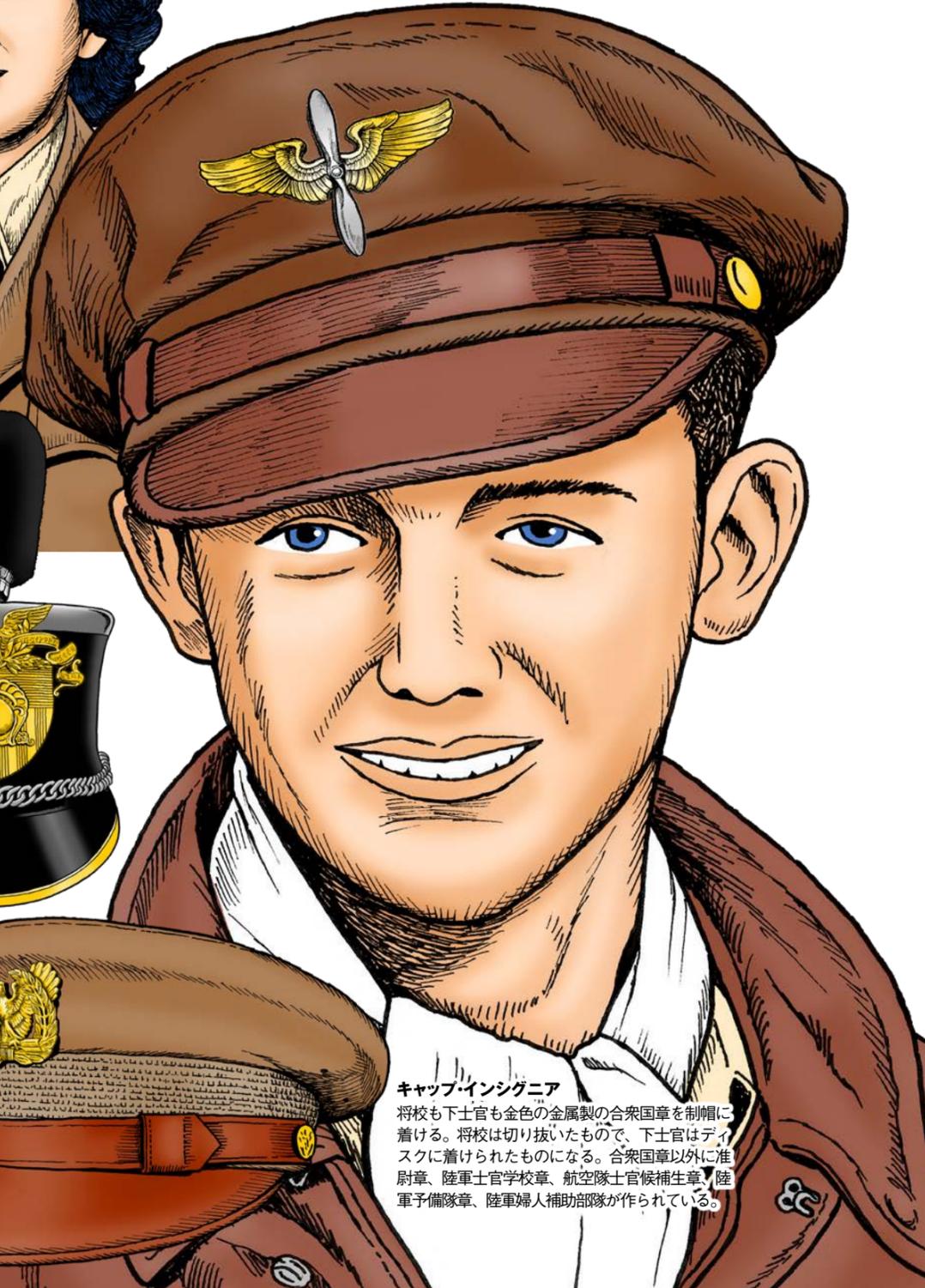
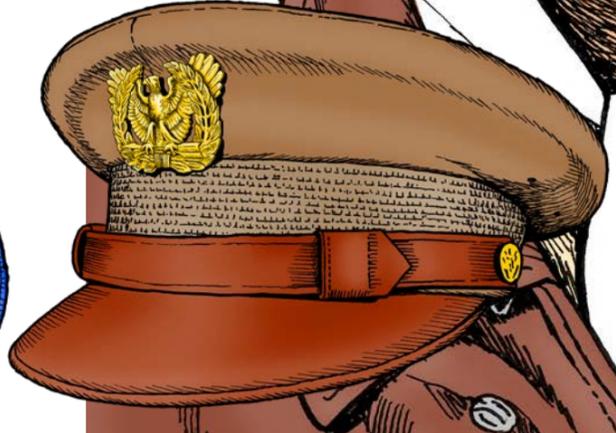
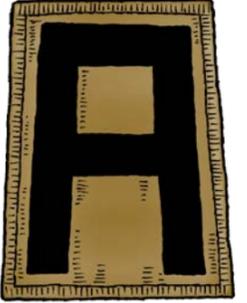
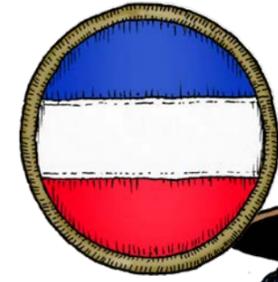
訳と構成/コンバットマガジン編集部 Illustration/M. Kelly

Source: "Searchlight for Helicopters" by Colonel Ben F. Hardaway, USAF, "U. S. Army Aviation Digest", January 1966

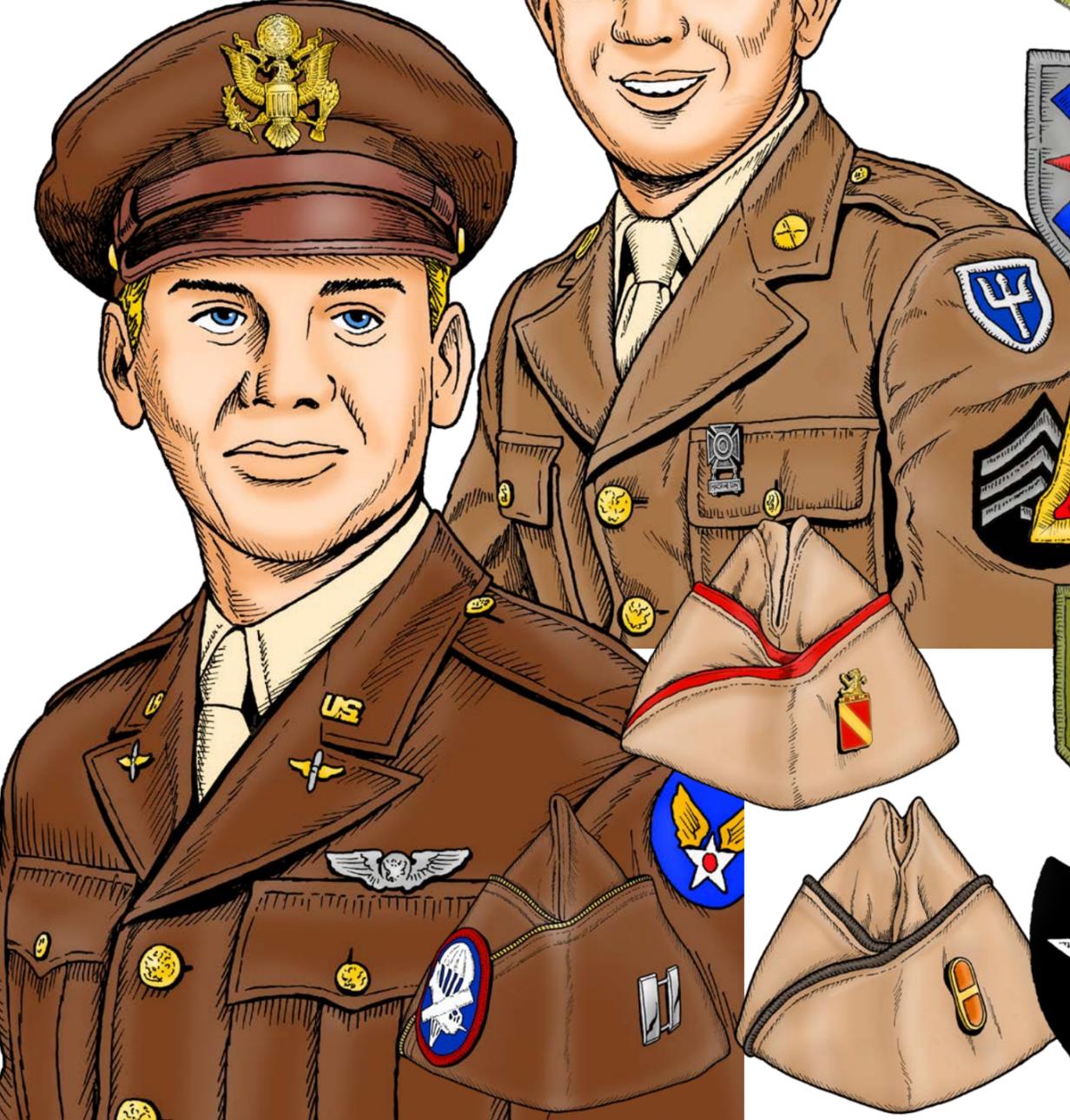
# INSIGNIA OF THE UNITED STATES ARMED FORCE

## ミリタリーインシグニア

その昔、中世の戦士たちは  
 友軍国や同盟国である証として  
 楯などに同一の「インシグニア」(紋章)を着けて戦った。  
 ヨーロッパでは、幾多の戦いの経験から、  
 戦場における将校の階級や部門などを識別する表示方法が  
 他の地域に先駆けて定着。19世紀中頃にはほぼ完成していた。  
 イラストと文 / M. Kelly



**キャップ・インシグニア**  
 将校も下士官も金色の金属製の合衆国章を制帽に  
 着ける。将校は切り抜いたもので、下士官はディ  
 スクに着けられたものになる。合衆国章以外に准  
 尉章、陸軍士官学校章、航空隊士官候補生章、陸  
 軍予備隊章、陸軍婦人補助部隊が作られている。



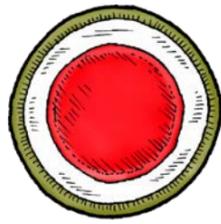
# INSIGNIA OF THE UNITED STATES ARMED FORCE



**第35師団** 1918年3月承認。青の円形に白のサンタフェ十字架を配した。第1次世界大戦前に訓練を行なったドニファン基地がサンタフェ・トレイルの出発点だったことに由来。通称「サンタフェ・ディヴィジョン」。



**第36師団** 1918年11月承認。切り抜かれたブルーの火打石の矢じりにオリブの「T」を乗せた。通称「パンサー」または「ロンスター（テキサス州の異名）・ディヴィジョン」。「T」は隊員たちの出身地テキサスを示す。



**第37師団** 1918年11月承認。オハイオ州旗の赤と白を円形にしたもの。通称「バックアイ（トチノキ属の総称/オハイオ州の異名）・ディヴィジョン」。



**第38師団** 1918年10月承認。左右赤と青に2分割された鋤形の盾に白の「C」と「Y」の文字が乗る。通称「サイクロン・ディヴィジョン」で、「Cyclo ne」の最初の2文字を表した。



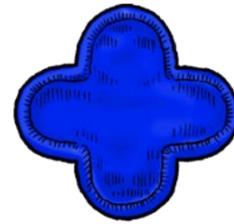
**第40師団** 1918年11月承認。青の菱形に12の光線を放つ黄の太陽が乗る。通称「サンシャイン」または「ガラガラヘビ・ディヴィジョン」。



**第86師団** 1918年11月承認。ソーク族のリーダーの名前にちなんで名付けられた。赤の盾に「B.H」のイニシャルが入った黒鷲が乗る。通称「ブラック・ホーク・ディヴィジョン」。



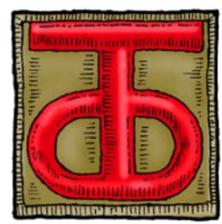
**第87師団** 1922年5月承認。緑の円形に黄のドングリ。ドングリは強さのシンボルである。通称「ゴルデン・エイコーン・ディヴィジョン」。



**第88師団** 1918年11月承認。8と8を直角に交差させ、四つ葉のクローバーを青のシルエットで形成した。また隊員たちの出身地である4州も表している。通称「クローバーリーフ・ディヴィジョン」。



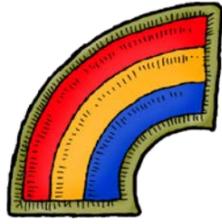
**第89師団** 1918年10月承認。ダーク・オリブの円形を黒で縁取った中に黒の「W」の文字。Wはひっくり返すとMになり、「ミドル・ウェスト・ディヴィジョン」を表している。



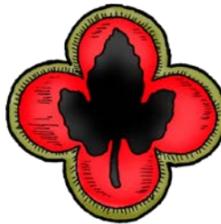
**第90師団** 1918年10月承認。赤の「T」の下部に楕円形の「O」が着く。結成時の隊員の出身州であるテキサスとオクラホマの頭文字になる。通称「アラモ・ディヴィジョン」。



**第41師団** 1918年12月承認。赤の半円形に12の光線を放つ黄の太陽と青の直径線。太平洋の青い海原に沈む太陽を表した。通称「サンセット・ディヴィジョン」。



**第42師団** 1917年8月承認。26の州とコロンビアの州兵で組織され「虹のように全国に広がる」との言葉から想起した「レインボー・ディヴィジョン」として知られる。



**第43師団** 1923年3月承認。切り抜かれた赤い四つ葉に、黒のブドウの葉が乗る。四つ葉は隊員の出身地である4州を表し、黒のブドウの葉はニューイングランドがワインの産地であることを示す。



**第44師団** 1921年10月承認。黄の円形を青で縁取り、その中に青い「4」の文字を左右対称に並べた。この配色はオランダ移民が移住した時代のオランダ王家のナッソウ家のカラーになる。



**第45師団** 1939年5月承認。赤の菱形に黄色のかみなり鳥が乗る。スペイン系の多いこの師団では、昔スペイン人が移住した4州を四角で示し、かみなり鳥は無限の幸福をもたらすというインディアンの聖なるシンボルだ。



**第91師団** 1918年10月承認。緑のもみの木のシルエット。常緑樹は常に戦闘準備が出来ていることを意味する。通称「ワイルドウェスト・ディヴィジョン」。



**第92師団** 1918年10月承認。黒で縁取りされたダーク・オリブの円形に黒のバッファロー。この「バッファロー・ディヴィジョン」は有色人種部隊だった。



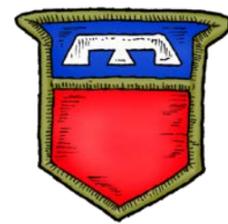
**第93師団** 1918年12月承認。黒の円形にブルーのフランス軍のヘルメットが乗る。第1次世界大戦でフランス軍師団と行動を共にしたことを象徴的に表している。



**第94師団** 1942年9月承認。円形を斜めに2分割してグレーと黒に塗り分け、グレー地に黒の「9」、黒地にグレーの「4」を配置する以前は、プリントロック式銃を持った清教徒のシルエットだった。



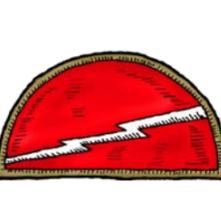
**第95師団** 1942年8月承認。青の縦長の楕円に白のローマ数字の「9」（5）と、赤の数字の「5」が絡まる。通称「メッツの鉄人」または「ヴィクトリー・ディヴィジョン」。



**第46師団** 1919年3月承認。耳を持つ盾の上部3分の1の青い部分に白の三叉形「ラベル」が乗る。これは中世時代の紋章で長男の身分を表す。



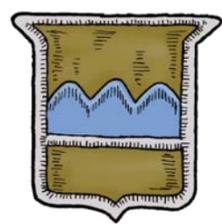
**第77師団** 1918年10月承認。ブルーの台形に黄の自由の女神像が乗る。通称「メトロポリタン」または「リパティエー・ディヴィジョン」。



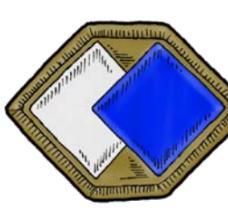
**第78師団** 1918年10月承認。赤の半円形に白の一条の電光が乗る。この電光が「ライティング（稲妻）・ディヴィジョン」の異名を暗示している。



**第79師団** 1918年11月承認。青の盾に白のローヌ十字が乗る。フランスにおける勝利のシンボルのローヌ十字は上の横木が短く、下の横木が長い。通称「ロレーン・ディヴィジョン」。



**第80師団** 1918年10月承認。耳のあるダーク・オリブの盾に白の縁取りと3つのブルーの山が重なる。通称「ブルーリッジ・ディヴィジョン」。



**第96師団** 1927年2月承認。ダーク・オリブの六角形にオレゴン州とワシントン州を表す白と青の正方形が重なって乗る。愛称は「デッドアイ・ディヴィジョン」。



**第97師団** 1922年10月承認。青の盾に白の縁取りと三つ又の槍。槍はトライデントと呼ばれ、古代ギリシャ神話の海の神が持っていたもの。太平洋で戦う師団の通称は「トライデント・ディヴィジョン」。



**第98師団** 1922年12月承認。オランダ王家ナッソウ家カラーを使い、青い盾をオレンジで縁取り、中央にイロコイ族酋長の横顔。5枚の羽飾りは彼らが所有した広大な5つの土地の象徴である。



**第99師団** 1923年5月承認。鉄を表す黒の盾の中央に白と青の市松模様。市松模様はピッツバーグの名前の由来となったウィリアム・ビットの紋章で、白・青各9つの四角で「99」を示す。



**第100師団** 1923年5月承認。青の盾に白と黄で上下半分になり塗り分けられた「100」の数字が乗る。通称「センチュリー・ディヴィジョン」。



**第81師団** 1918年10月承認。黒で縁取られたダーク・オリブの円形に黒の山猫。師団パッチを最初に着けた師団であり、山猫（ワイルド・キャット）は隊員らの出身地のサウスカロライナ州辺りでは一般的な動物。通称「ワイルド・キャット・ディヴィジョン」。



**第82師団** 1918年10月承認。赤の正方形に乘せた青の円形に「A」の文字を左右対称に配す。1942年8月に空挺として青地に白文字のエアポート・タブが付いた。通称「オール・アメリカン・ディヴィジョン」。



**第83師団** 1918年12月承認。黒の逆三角形にオハイオのスペルが組み合わされたものが乗る。通称「オハイオ・ディヴィジョン」。



**第84師団** 1924年2月承認。赤の円形に白で横木を斧で半分に分ける図柄。これはリンカーン大統領の少年時代の逸話に由来する。通称「レールスプリッター・ディヴィジョン」。



**第85師団** 1918年12月承認。ダーク・オリブの円形に赤の円形に白で横木を斧で半分に分けた「C,D」の文字。第1次世界大戦の訓練基地の名前になったカスター将軍に敬意を表している。通称「カスター・ディヴィジョン」。



**第101師団** 1923年5月承認。黒の盾に白の叫ぶ鷲が乗る。ウィスコンシン州に伝わる南北戦争時代の伝統的デザイン。1942年8月に空挺となりエア・ボーンタブが着く。



**第102師団** 1924年3月承認。青の円形に黄の「O,Z」と半円のアーチが乗る。本拠地とするアーカンソー州とミズリ州をまたぐオーザック山脈を師団名に採用した。



**第103師団** 1922年10月承認。黄の円形に緑の巨大なサボテンが乗る。サボテンは最初に組織されたときのコロラド州南西部のユニットのホームエリアを示す。通称「カクタス・ディヴィジョン」。



**第104師団** 1924年8月承認。濃い緑の円形にシルバーのティンバー・ウルフの横顔。この狼は死ぬまで獲物を追いかける粘り強いハンターである事から選ばれた。通称「ティンバー・ウルフ・ディヴィジョン」。



**第106師団** 1943年1月承認。青の円形に赤の縁取り、中央に金のライオンの顔。青は歩兵で赤は砲兵支援を示し、ライオンは強い力を表している。愛称は「ゴールデン・ライオン」。



(上) 1965年2月、南ベトナムのブロンコ一帯で押収された武器の数々。第二次大戦時のPPSH-41やKar98kから新型のAK-47、RPG-2まで総量100トンに渡るこれらの武器は解放戦線への供与品で、南シナ海を通じて北ベトナムから運ばれていた。(下) 解放戦線メンバーに支給されたハンドブック。内容は勳章の紹介、アメリカ人捕虜の尋問法など多岐に渡る。



(左) ニャチャンで活動していた解放戦線の工作員たち。左上から時計回りに政治委員、軍事司令官、破壊工作員、宣伝部幹部。彼らはテト攻勢の際に行なわれた南ベトナム軍の反攻によって捕らえられた。(下) 解放戦線のメンバーが持っていたパスポート。解放戦線と北ベトナム軍の聖域となっていたカンボジアのビザが貼り付けられている。

# 解放戦線とは何者だったのか Part 2

文/鈴木健太郎 写真/D. Whiteコレクション、WPPアーカイブ、US ARMY、Central Intelligence Agency、NARA、AUSTRALIAN WAR MEMORIAL、K. Imai

北ベトナム軍とともにベトナム戦争の勝利者となった解放戦線。彼らがどんな人々だったのか、パート2の今回はより多くの写真で彼らの実像に迫ります。

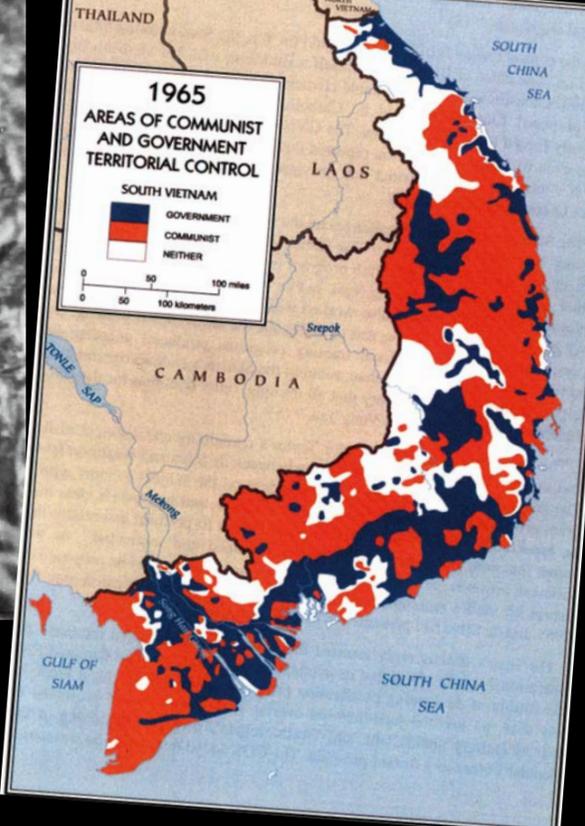


インドシナ戦争終結による南北分断の後も南ベトナムに残ったベトミンのメンバー。彼らは解放戦線が結成される以前から武装闘争を行ない、解放戦線の中核を担った。彼らが履いている古タイヤで作られたサンダル、通称ホーチミンサンダルやフランス軍から奪った武器はベトナム戦争でも盛んに用いられており、M1カービンとともに写っているMAT-49型機関銃はより入手しやすい7.62×25mm弾を使用する改修型の使用例も多い。後列中央には解放戦線議長となるグエンフートの姿がある。



ジャングルをパトロールする解放戦線主力部隊。高い機動力を旨とする彼らはサスペンダーを必要とするような重い装備品はめったに携行せず、ここでも銃や装備の類がほとんど見えないが、腰には小物入れとアメリカ製M26手榴弾を備えたベルトを身に付けている。

周囲を警戒しながら進む解放戦線主力部隊。先頭の者はAK-47を持っているが、二人目は武器を持っていないように見え、三人目の指揮官と思われる者は拳銃を装備するなど武器と装備にバラつきがある。この部隊は迫撃砲あるいは無反動砲を装備しており、中央には砲身や付属品を担っている者も写っている。



(上) 1965年の南ベトナムにおける政府軍と解放戦線の勢力図。青が政府軍、赤が解放戦線、白が空白地帯を示し、アメリカ軍が本格介入するこの年の時点で解放戦線がかなりの勢力を持っていたことが分かる。(下) AK-47と柄付き手榴弾を手にした解放戦線主力部隊の兵士。胸には中国製あるいはベトナムでコピー生産された弾倉ポーチを付けており、武器だけでなく装備も北ベトナム軍と同等になっている。



Photo/AUSTRALIAN WAR MEMORIAL



無反動砲の射撃姿勢を整える解放戦線主力部隊。ここで使われている無反動砲はアメリカ軍が1945年に採用した口径75ミリのM20、または中国製コピーの52/56式と思われ、より軽便なRPG-2が登場したあとも多くの戦闘に投入されている。





U.S. AIR FORCE BLU... PRACTICE BO... BO...

Their design and w... cated real bombs s... bombardier's calcu... speed elevation s... were not disturbe... weight factor. P... vere filled with... nd a 5 lb. bla... ts smoky bur... ovice bomba... missile came... empty weigh... harmless co... hoist rings... them for d... kids to su... rocket 4...



**KAUFMAN SURPLUS & ARMS INC.**  
319 WEST 42nd ST. - NEW YORK, N. Y. 10036  
623 BROADWAY - NEW YORK, N. Y. 10012

No. 33375  
\*Replicas of Historical 24 Pounder Cannon. This very attractive miniature cannon... fire. Ideal as den & desk pieces, and bookends. Length 4 1/2". With ammunition. Black Finish With Chrome Barrel. \*Shipping Cost 1.00

# いつも時代の憧れだった ミリタリーサープラス カタロググラフィティ①

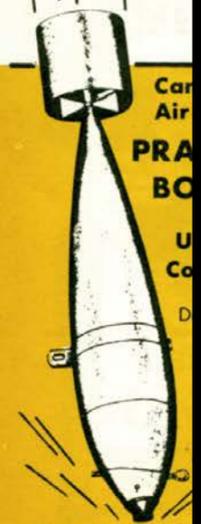
構成/コンバットマガジン編集部

機能的でタフなものを求める本物志向の人たち、そして戦地の兵士と同じものを手に入れたいと願うミリタリーコレクターにとってサープラスショップは天国のような場所である。余剰となった、あるいはほんの些細な点によって不良品となり納入されなかった品々が店内で溢れかえる様子は実に壮観で、ちょっとした知識さえあれば歴史的な戦いで使われたヘルメットや試作品のフライトジャケットを驚くほど安い値段で購入することもできる。実用本位で開発されたミリタリーギアの中には非常に高いファッション性を備えたものもあり、一部の目ざと

い有名俳優やセレブがプライベートでサープラス品を着用し、あっという間に値段が急騰して枯渇したあと一流ブランドがコピー品を売り出すという現象も定期的に起きている。サープラスショップでは店頭販売だけでなくカタログ通販も積極的にしており、軍が被服や装備品を更新するたびに目まぐるしく変わる商品展開は何度読み返しても飽きないほどだ。購買欲をくすぐられながらお気に入りのカテゴリーを見つける楽しみを満喫できるこの種のカタログは商品が軍の制式名ではなく、一般人の人々にもイメージしやすい名称で記されているという特徴があり、カタログで

何度も見かける「BOMBER JACKET」、「TANKER JACKET」などの呼び名が一般市民だけでなく兵士の間でも用いられているところを見ると、サープラスショップのカタログがいかに多くの人々に馴染み深いものであるかが分かる。またサープラスショップでは軍の仕様によく似た複製品をプロデュースしており、サープラス品とショップのオリジナル品が入り混じるこれらのカタログは当時の流行を知る上でもこれ以上ない資料となる。第一回はニューヨークでもっとも古いサープラスショップ、カウフマンによるカタログのご紹介。

ship's carronade having black iron carriage; indiv. Cost 25¢ 2.00 mortar; black solid ally boxed; weight Cost 35¢ 3.50 cannon; satin-finish heavy ly (broadside) black cast individually boxed; weight Cost 50¢ 5.50 field howitzer; satin-finish e with large black iron lb. Shipping Cost 25¢ 3.50 "napoleon" field cannon; avy black iron base with ally boxed; weight 2 Cost 50¢ 5.50 "12 pounder" field solid brass, satin-finish e black iron wheels; Shipping Cost 50¢ 5.95 piece. Black iron barrel individually boxed; weight & Cost 35¢ 2.00



Graceful clean white bomb, with brass body, metal fins. Length 16 1/4 diameter 2 1/4 lbs. Shipping Cost 1.00

**KAUFMAN SURPLUS & ARMS INC.** 623 BROADWAY NEW YORK, N. Y. 10012 319 WEST 42nd STREET NEW YORK, N. Y. 10036 AREA CODE - 212 673-3535

## LEATHER FLYERS HELMET



Soft, pliable, head hugging, black leather, carefully stitched for proper fit. Constructed with special goggle holds to keep them properly on your head. Ear pieces can be worn in or out. Complete with chin strap

(Helmet Only) **3.95**  
Shipping Cost 35¢

**AIR FORCE GOGGLE**  
See Page 13 **9.95**  
Shipping Cost 50¢

## AUSTRALIAN DIGGER HAT



This is the famous Battle scarred hat from way down-under. It has an extra high crown and a 3 1/2" sweep brim. The color is Kangaroo and it is made of fur-like felt material. Hartband is handsome cloth alternate overlay, complete with leather chin strap, distinctive flare battle wide styling. Sizes 6 1/4" to 7-5/8". Shipping Cost 75¢

## U.S.A.F. JET FLYERS HELMETS

These were worn by the men in the U.S. AIR FORCE. They are used but in real sharp condition with soft inside cushions and sliding webbing for head fit. Good protective gear for motorcyclist or Drag Racer (buy decal separately 30¢)



**19.95**  
Shipping Cost \$1.75

## U.S. NAVY GUNNER'S HELMET

The BIG pot. Cushioned head protection. This helmet was used on our big aircraft carriers by defense gunners. Rare piece in that, they are still in use and regular aircraft gear. 13"x11"x9" with adjustable chin strap. Shipping Cost \$2.00 **8.95**

## U.S. ARMY SPECIALIST FIELD JACKET



Styled like the WWII jacket of a rich dark green poplin cloth, hip length with a warm wool liner. It has a full zipper front fully protected by a button flap front. The shoulders are full action-cut, there is an attached half belt and 2 deep slash pockets. Size Small or Medium

**12.95**

Shipping Cost 1.00



## U.S. NAVY FLYERS HELMET

New style with flexible ear protectors. Full washable visor, ear phones & jack. (We do not guarantee ability to operate). Used Excellent condition Shipping Cost 1.00 **24.95**

## U.S.N. SUMMER FLYERS HELMET

Beautifully made of combed cotton poplin, tan color, head hugging with special adaptors to hold goggles in place. Complete with chin cup.



(Helmet Only) **95¢**  
Shipping Cost 20¢

## U.S. NAVY Winter Weight AVIATORS HELMET

Leather sleeplined with soft suede ear cover for protection, velvet lined chin strap, leather goggle holders. Ear opening for hearing or receiving messages.



Shipping Cost 25¢ **9.95**

## U.S. MARINE CORP. FATIGUE CAP

The elite fatigue cap of sateen cloth. It has a high stitched crown to retain it military shape. It has the marine emblem stenciled on its front. Sizes S-M-L. Shipping Cost 15¢ **1.50**



## AIR COMMANDO HAT



Rugged fully stitched hat inspired by the fighting, rugged Vietnamese whose need for a strong versatile hat useful during hot spells to minimize the heat and keep the head cool, and yet camouflaged against attack. Shade producing but convertible instantly to a shooting hat with a distinctive side flate, whose brim never interferes with the shooter eye. Sizes 6 1/4 to 7 1/2.

**THE AIR COMMANDO HAT 4.95**

**AIR COMMANDO CAMOUFLAGE HAT 5.95**  
Shipping Cost 75¢ ea.



Original Government **SCOTTISH HIGHLAND HAT**  
Navy blue wool, black ribbon binding and back drop. Red pom-pom. For "kids" of all ages. Sizes 6 1/4 to 7 1/2 Shipping Cost 35¢ **3.50**



**Civilian Defense NEW WHITE O.C.D. STEEL HELMETS**  
The Policemans Pal. Shipping Cost 75¢ **4.95**

**KAUFMAN SURPLUS & ARMS INC.** 623 BROADWAY NEW YORK, N. Y. 10012 319 WEST 42nd STREET NEW YORK, N. Y. 10036 AREA CODE - 212 673-3535

ヘッドギア、とくに飛行用ヘルメットが目立つページである。このカタログは発行された日時が記されていないのだが、右上にベトナム戦争で流行したフランス型のプッシュハット、表紙にはタイガーストライブ迷彩の戦闘服を着た兵士が描かれており60年代のものである可能性が高い。海兵隊のシンボルである八角帽が戦闘および作業用被服を指すFATIGUEの誤植と思われるFATIGUE CAPとなってしまっているのが少々お茶目である。



第191回 **[現用米軍装備カタログ]** **番外編!**  
**1990年代ハリウッド映画に見る**  
**H&K MP5装備特集**

●解説/松原 隆 ●撮影/山崎 学 ●協力ショップ/LAZY CAT、トイソルジャー、TRI'S (旧特工工房) ●協力/木島秀邦、リスクコントロール

昨年、東京マルイが電動エアソフトガンを発売して30周年を迎えた。その節目のモデルとして、次世代電動ガンMP5A5が登場。サバゲ歴40年の筆者は、ガスガン時代から数えて一体何挺のMP5系を購入してきた事か……。次世代電動ガンMP5A5を手にした時、これまでの製品とは別物の質感と剛性に驚いた。マガジンが空になると発射作動がオートストップ、ふたたびマガジンを差し込んでボルトハンドルを引いてそれを解除できるボルトリリース機能まで付いている！ これで“あの懐かしい映画のシーンがサバゲでも再現できる！”と想像したら、胸が高鳴り、銃の重さもあってか思わず手が震えてしまった！

**THE EQUIPMENTS**  
**OF THE U.S. FORCE**

# Militaria Roundup!

## WW2ドイツ空軍ユニフォーム Part 3

WW2各国空軍の中でも洗練されたユニフォームが特徴のドイツ空軍。  
 今回のドイツ空軍ユニフォームPart3では、各種資格章と戦闘徽章をメインに紹介していこう。

解説/菊月俊之 写真/青木健格 撮影協力/サムズミリタリ屋 <https://www.sams-militaria.com>、カンパバタリオン!! <http://www.kampbataillon.com/>

### ドイツ空軍の退潮と終焉

1943年、ドイツは全線戦で守勢に立ち、西側連合軍によるドイツ空襲も本格化した。ドイツ空軍は他戦線から戦闘機部隊を移動させ、防空戦力を強化。一方、スターリングラード攻防戦で大損害を出した東部戦線のドイツ空軍は兵力を回復したが、地上戦闘支援で兵力分割を余儀なくされて戦力を消耗。またソ連空軍が質と量の両方でドイツ空軍を凌ぐようになり、44年以降は東部戦線の航空優勢も失ってしまう。さらに連合軍の爆撃で石油の供給が激減し、パイロット訓練も縮小。これに航空戦の消耗が加わり、ドイツ空軍は効果的な作戦遂行能力を事実上喪失した。

ドイツ空軍は大戦末期に新鋭ジェット戦闘機メッサーシュミットMe262を実戦投入するが、劣勢は変わらない。西部戦線における最後の反攻となったアルデンヌ攻勢で、ドイツ空軍は連合軍戦術空軍撃滅のため“ボーデンブラッテ”作戦(45年1月1日)を発動。ベルギー、オランダ、フランスの連合軍基地を奇襲したが、約300機(参加機の3割)を喪失してしまう。ドイツに迫る連合軍に対し、空軍は東西両戦線の兵力を等分化して対抗。西部戦線では4月末で作戦行動を停止したが、東部戦線では5月7日のドイツ降伏まで戦い続けた。第2次大戦中にドイツ空軍は約11万3500機を生産したが、約11万機を喪失。搭乗員の戦死者は10万人前後といわれる。



**フォッケウルフFw190D**  
 Fw190Dは高高度性能に劣るFw190戦闘機の空冷エンジンを液冷エンジンに換装した機体で、大戦後期の1944年から生産が開始された。高高度性能はそれほど向上しなかったが、性能向上には目覚ましいものがあった。エンジン換装によって延長された機首が特徴で、「長っ鼻(Langnasen)」と呼ばれた。写真の機体はアメリカ空軍航空博物館に展示されている機体で機首にJG3「ウーデット」の部隊紋章が描かれている。

### ドイツ空軍のスーパー・エース

WW2のドイツ空軍は100機以上の撃墜記録を持つエース(ドイツ空軍では「エクスパルテン」)が80人以上、200機以上撃墜が13人、そして300機以上撃墜が2人存在。トップ・エースのエーリヒ・ハルトマン少佐は実に352機を撃墜している。ドイツ空軍スーパーエースの戦果は桁違いに高いため、疑惑の目で見られることもあった。だが、ドイツ空軍の戦果確認の基準は厳格で、僚機パイロットの目撃証言や地上部隊による確認が必要とされており、信頼性が高かった。また研究者による調査により、ドイツ空軍エースの撃墜記録は正しいことが判明している。

ドイツ空軍が多数のスーパー・エースを排出した理由はさまざまだが、最大の理由は出撃回数の多さが挙げられる。また大戦初期のソ連空軍の戦闘機パイロットの練度が低かったことも関係しているようだ。このため西部戦線における撃墜の方が高く評価される傾向がある。多数のスーパー・エースを排出したドイツ空軍だが、エースの資格とされる5機撃墜の記録を持つ戦闘機パイロットの数は、意外にもアメリカ陸軍航空隊より少ないという。



**騎士十字章内訳**  

柏葉付騎士十字章 (1940年 6月 3日制定)
柏葉剣付騎士十字章 (1941年 7月15日制定)
柏葉剣ダイヤモンド付騎士十字章 (1941年 7月15日制定)
黄金柏葉剣ダイヤモンド付騎士十字章 (1944年12月29日制定)

#### 騎士十字章

1939年9月1日に制定された騎士十字章(Ritterkreuze des Eisernen Kreuzes)はドイツ軍一般将兵に対する最高勲章で、大戦中により高位の騎士十字章が制定されている(内訳は別表参照)。戦闘機パイロットの授章基準は点数制で、単発機が1点、双発機が2点、4発機が3点とされ、夜間の場合は点数が2倍となった。騎士十字章の授章には20点が必要とされたが、戦争の長期化で授章基準の撃墜数は大幅に増加している。(撮影協力:カンパバタリオン/Gw0056 騎士十字章 薄型積層/価格6600円)

### 空軍勲章&資格章

各国空軍と同様、ドイツ空軍の航空機搭乗員の資格章はその任務別に制定されていた。その最初のもは空軍の前身であるドイツ航空スポーツ協会(DLV)が1933年に制定した一般搭乗員章で、空軍の存在が公表された35年以降は各種航空資格章に変更されている。

ドイツ空軍の航空資格章は訓練終了後に授与されるもので、その内訳は別表を参照されたい。これら資格章の機関銃手章は①無線/機銃手章(1935年10月27日制定)、②機銃手/航空機関士章(42年6月22日制定)、③機銃手章(44年4月25日制定)の3種類が存在したが、③は俗に「無資格機関銃手」とも呼ばれ、専門訓練を受けていない兵士が機関銃手として10回の作戦飛行に従事した場合に授与されるものとされている。

#### 空軍資格章内訳

パイロット章 (Fliegerschafts-Abzeichen: 1935年 5月27日)
パイロット・観測員章 (Gemeinsames Flugzeugführer-und Beobachter-Abzeichen: 1936年 3月26日)
航空機銃手章 (Fliegerschützen-Abzeichen: )
グライダー・パイロット章 (Segelflugzeugführer - Abzeichen: 1940年12月16日)

### 空軍パイロット章 FLIEGERSCHAFTS-ABZEICHEN

再軍備宣言によりドイツ空軍の存在が公表された直後の1935年5月27日(36年3月26日説あり)に制定された資格章で、飛行訓練終了後に授与された。デザインは空軍の前身であるドイツ航空スポーツ協会(DLV)のパイロット章のそれを継承しているが、柏の葉のレースがDLV版では横に広いのに対し、空軍版では縦に広がっている。パイロット章にはバリエーションとして刺繍製が存在。着用位置は左胸ポケット下部とされている。



**金属製**  
 (撮影協力:カンパバタリオン!!/Gw0027 空軍パイロット章/価格3960円)



**刺繍製**  
 (撮影協力:カンパバタリオン!!/Gw0175 刺繍パイロット章/価格3300円)

### パイロット・観測員章 GEMEINSAMES FLUGZEUGFÜHRER-UND BEOBACHTER-ABZEICHEN

1936年3月26日にDLVの一般搭乗員章に代わる徽章として制定された徽章で、パイロットと観測員(オブザーバー)双方の資格を持つ兵士に授与された。授章にはパイロット、あるいは観測員として1年以上の資格を持つことが必要とされた。デザインはパイロット章と同じだが、鷲が銀色で、柏のレースが金色となっている点が異なる。着用位置はパイロット章と同じ。



**金属製**  
 (撮影協力:カンパバタリオン!!/Gw0242 空軍パイロット章オブザーバー/価格3960円)



**刺繍製**  
 (撮影協力:カンパバタリオン!!/Gw0216 全刺繍パイロットオブザーバー章/価格3300円)

### 黄金ダイヤモンド付パイロット・観測員章

パイロット・観測員章にはバリエーションとして黄金ダイヤモンド章が存在するが、これは空軍総司令官ヘルマン・ゲーリングが空軍の優れたパイロットを表彰する目的で1939年10月19日に制定。資格章ではなく勲章としての性格を持ち、素材に22金とプラチナ、そしてダイヤモンドを使用。その授章者は僅か56人で、陸軍のエルヴィン・ロンメル元帥をはじめ空軍以外の高官や同盟軍の将軍にも授与された。また空軍テストパイロットとして活躍した女性飛行士ハンナ・ライエツェが女性として唯一この勲章を授与されている。黄金ダイヤモンドパイロット・観測員章は授与の際に模造ダイヤを使用した複製が同時に授与され、制服に佩用する際は複製を使用した。



(撮影協力:カンパバタリオン!!/Gw0166 LWダイヤモンド付パイロット章/価格1万5400円)



#### ハンス・ヨアヒム・マルセイユ大尉

158機を撃墜し、アフリカ戦線での活躍により「アフリカの星」と呼ばれたハンス・ヨアヒム・マルセイユ大尉(1919~42年)。天才的な操縦技術と射撃能力を持ち、1941年9月1日には3回出撃して17機撃墜を記録。9月20日に乗機のエンジントラブルに見舞われ、脱出に失敗して死亡した。写真は戦争中に販売された肖像写真で、柏葉剣付騎士十字章、1級および2級鉄十字章、ドイツ十字章、そして黄金ダイヤモンド付パイロット・観測員章を佩用している。写真下にダイヤモンド剣付柏葉騎士十字章授章者」とあるが、彼の死亡により授与は行われなかった。



(撮影協力:カンパバタリオン!!/Gw0149 LWグライダー章/価格3300円)

### グライダー・パイロット章 SEGELFLUGZEUGFÜHRER-ABZEICHEN

グライダー・パイロット章は第2次大戦突入後の1940年12月16日に制定された資格章で、グライダー操縦訓練を完了した者に対し授与された。ただし授与が開始されたのは42年からとなっている。ドイツ空軍はグライダーを空挺部隊の空輸や物資輸送に使用したが、その中にはエンジン付きのものも存在。中でもメッサーシュミットMe321/323ギガント(巨人)は18~22tのペイロードを持つ超大型グライダーだった。

(撮影協力:カンパバタリオン!!/Gw0149 LWグライダー章/価格3300円)

#### ハンナ・ライチュ(1912~79)

ハンナ・ライチュはドイツ空軍のテストパイロットとして活躍し、女性で唯一の黄金ダイヤモンド付パイロット・観測員章を授章した。左胸に佩用しているブローチ状のものが女性版の黄金ダイヤモンド付パイロット・観測員章で、その右が2級鉄十字章。彼女は女性として唯一1級鉄十字章を授章したことも知られる。



#### メッサーシュミットMe262

Me262は第2次大戦で登場した世界最初のジェット戦闘機で、大戦末期の1944年4月から実戦投入が開始された。本来は迎撃機として設計されたが、ナチス・ドイツ総統アドルフ・ヒトラーが爆撃機への転用を命令。このため実戦参加が大幅に遅れる(Me262の初飛行は41年)こととなった。Me262はその高速からレシプロ機に対し絶大な優位を誇ったが、その戦果は撃墜150機で損害は約100機とされる。

#### ドイツ空軍階級内訳

元帥 / Generalfeldmarschall	特務曹長 / Stabsfeldwebel
上級大将 / Generaloberst	上級曹長 / Oberfeldwebel
中將 / Generalleutnant	曹長 / Feldwebel ※ 1
少將 / Generalmajor	下級曹長 / Unterfeldwebel
大佐 / Oberst	軍曹 / Unteroffizier
中佐 / Oberstleutnant	高級上等兵 / Hauptgefreiter ※ 2
少佐 / Major	上級上等兵 / Obergefreiter
大尉 / Hauptmann	上等兵 / Gefreiter
中尉 / Oberleutnant	兵 / Flieger ※ 3
少尉 / Leutnant	

※1 砲兵曹長の階級名はWachtmeister。 ※2 1944年5月に高級上等兵の階級は特務上等兵(Stabsgefreiter)に変更。 ※3 兵の階級はドイツ語では兵科によって呼称が異なり、砲兵は“Kanonier”、工兵は“Pionier”、空軍地上師団では“Grenadier”や“Fusilier”と呼ばれた。

# COLT GOVERNMENT SNAKEMATCH 1911

世界中でヒットを記録したPCゲームのヒーローが  
愛用するM1911カスタムスネークマッチ再登場!!

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY ©ウエスタン アームズ 03-3407-5922 http://www.wa-gunnet.co.jp



アタッチメント用スクリーを備えたロング・バレルがスマートなスネークマッチ1911。カスタム・パーツに交換したという設定に合わせたスライドは、モデル名などの刻印類がほとんど存在しない。

数々のカスタム・アップが施されたスネークマッチ1911。トラベル・アジャスター内蔵のマッチ・トリガーも、個性的な6ホール・タイプを搭載。

メタル・チャンバーカバーは、ブラック・カラーの無刻印タイプ。



ハリウッドのアクション・スター、カート・ラッセルが主演して、ヒット作となった近未来SFアクション『ニューヨーク1997 (ジョン・カーペンター監督、1981年公開)』をベースに製作され、世界中で大ヒットしたPCゲーム『メタルギアソリッド』シリーズ。その第5作目『メタルギアソリッド3/スネークイーター』のヒーロー、ネイキッド・スネークが手にする近未来型ガバメントをモデル・アップしたウエスタンアームズ(以下:WA)の“スネークマッチ1911”が、PCゲーム・ファン、.45カスタム・ファンの熱いリクエストに応えて再登場する。

これまで半世紀に渡ってM1911トイガンの製作にこだわってきたWA。エアソフトガンの時代に入って、高精度、高性能、そして何よりもリアルさを追求したよりハイ・レベルな製品開発を進め、他の追随を許さないアクション性とリアリズムをきわめたM1911シリーズで、ファンを楽しませている。ベーシックなシリーズと共にファンが注目してきたのが、機能美に溢れた各種のカスタム・モデル。実在するモデルの正確な再現はいうまでもなく、独自の構想でア

レンジしたモデルなど魅力溢れる多くの.45カスタムをリリースして、ファンを熱狂させている。PCゲーム専用カスタム“スネークマッチ1911”は、架空の世界に存在する銃器をテーマにしているものの、細かな部分まで正確に再現することで、実際のマッチ・ウエポンとしても頼れる1挺に仕上げられている。個性を主張することが第一目的のゲームやアニメーションに登場する銃器は、と

もするとオーバー・イメージになりがちだが、現実の世界でも高度な機能を発揮する.45は、M1911を知り尽くしたWAならではの機能美に溢れた1挺といえるだろう。フレーム、スライドの素材は重量と耐久性、独特の外観などが高く評



樹脂製グリップ・パネルは、左右フロント部分を大きく削り取ったナイフ・ファイト・シェイプ・デザインを機械加工で再現。このモデルだけの特別なグリップ・パネルだ。

価されているCBHW。サンドブラストとフラット・サイドのポリッシュで、ステンレス・モデルを思わせるソリッドで硬質な金属感を醸しだしている。スネークマッチ1911の大きな特徴

は随所に施された細かな加工。WAではブランク素材に入念な機械加工を施して、その個性的な外観を余すところなく再現している。スライドのフラット・トップ、フロントとリアで幅の異なるコルト純正タイプの

※撮影用のモデルはプロトタイプのため、量産品とは仕様異なる場合があります。

最大の特徴はスリムでコンパクトなレイルシステム。トップの主要部分のみピカティニレイル仕様で、必要箇所にレイルを付加できる。アウターバレルを含め、頑強で軽量な実銃の魅力をリアルに再現している。



# URG-1 11.5 inch BLACK

Photo & Text by Tomo Hasegawa 株式会社 東京マルイ ☎03-3605-1113 www.tokyo-marui.co.jp

グリーンベレーをはじめUS特殊部隊で導入運用されている“URG-I SOPMOD BLOCK3”。現代戦に即して進化した戦闘銃が、精悍なブラック仕様で登場。より使いやすいことをコンセプトに、コンパクトに戦闘力を強化した“現代の最前線で求められる特殊部隊の実用性”が、東京マルイの次世代電動ガンで体感できる!!

## URG-I 11.5inch BLACK

URG-Iは[Upper Receiver Group - Improved (アッパー・レシーバー・インブルーヴド)]の略称。M4ライフルをアップデート(仕様変更)することで、戦闘力を強化していくコンセプト。USアーミー特殊部隊向け

武器改良プログラム『SOPMOD』の最新仕様バージョンだ。

URG-Iは先に東京マルイから次世代電動ガンとしてURG-I SOPMOD BLOCK3 (14.5インチ)と11.5インチモデルが大好評発売中。すでに愛用しているという方もいらっしゃるだろう。今回URG-I 11.5インチモデルの

ブラック仕様(以下URG-I BK)が新発売。ブラックモデルならではの“精悍さ”が大きな魅力だ。

### 戦闘力を高めたレイルシステムの進化

外観でもっとも特徴的なのはやっぱりフォアエンドだ。

URG-Iにはガイズリー社のSMRを装備。R.I.S.やR.A.S.、R.I.S. IIといった以前のレイルシステムから、下面と左右側面のレイルが省かれ、一気にダイエットに成功。さまざまなタイプが登場した中から、固定方法や耐久性、実用性からSMRがチョイスされ、細く握りやすく進化しな

豊富なアクセサリが付属。注目はM-LOKレイル。S、M、L長さの異なる3種類(3、5、7のスロット)が付属!

M-LOKレイルは実銃どおりフォアエンドの上面を除く7面すべてに取り付け可能。実銃同様迅速に着脱でき、ガッチリ固定できる(取り付けの際Tナットがスロットに収まるよう向きに注意)。





ス向け栄養ゼリー（笑）と色んなものが出てきて、一喜一憂あり非常に楽しかったですね。あ、もちろん僕は3MIアイテムを沢山持っていましたので協賛やプレゼント交換で皆様にお配りいたしました。

#### 気になるODA会参加者装備

今回参加いただいた皆様は基本的に現用装備がほとんどでしたね。OPSCOREヘルメット、PATAGONIAやCRYEのマルチカムウェア、AVS・JPC・LV119などの最新ギア、そしてURGIの14.5インチと11.5インチ。やはり傾向としては現用グリーンベレーを追いかけて常にギアを更新している方が多い印象ですね。これだけ集まると圧巻です。

そして変わり種な5thSFGや7thSFGが仮想敵として着用したROTHCOタイガーウェアも旬なスタイリングです。僕自身も今ちょうど服とフルカラーインシグニアを購入したところで近いうちにやりたいなと思っている装備です。

今回残念ながら参加できなかった方の中には2008年前後のイラク装備をやる予定だった方もいたようで、もし参加されてたら色々なバリエーションのグリーンベレーが見れたのになぁ〜とちょっと残念。また近いうちにやりたいと思っていますので次回に期待です。

#### トレンドとなるかCBRN

装備あるあるなんですけど、一通りの

基本的な現用装備を集めちゃったら、よりコアなスタイリングがやりたくなるもの。そのコアなグリーンベレースタイリングとしてここ数年ジワジワと流行りつつあるのが「CBRN」。Chemical（化学）、Biological（生物）、Radiological（放射性物質）、Nuclear（核）の頭文字からくる言葉で、簡単にいうとガスマスク着用した装備スタイル。今回、モデルや装備提供でもよくお世話になってるBGとますたまさんと僕の3名はこのスタイルで参戦。

北朝鮮・中国・イラン・ロシアなどの敵対国が持つ軍事施設では地下サイトを構築している場合が多く、米軍は対テロ戦争（GWOT）が終了してからここ数

年、地下の掩体壕・トンネル複合施設での活動を想定した訓練を重視しています。グリーンベレーでも対テロを重視していたCRFは解散され、現在はHTD（Hard Target Defeat）という新しい中隊がとって変わる形で新設されていたりします。HTDはいわゆるハートターゲット（施設等）に対する攻撃を想定しているので、上記のような地下サイトでの活動も多く、ガスマスクを着用し訓練するグリーンベレーのミリフォットの露出が増えているのもこれが要因かなと思います。やはりガスマスクは今後の特殊部隊の装備として手にしておきたいアイテムですね。単純にかっこいいし、と言っても放出自体が少ないので入手

しにくいのは悩みどころではありますが……。個人的にはSOCOM向けの対NBC防護服も欲しいんですが、もっと出物が少ない（笑）！

#### 現用装備で行こう

で、さっきからサラッとってる「現用装備」。ひとえに言えば定義は曖昧ですよ。困っちゃう。具体的に定められた年数があるわけではなく、個人間の感覚で今からここ数年までの範囲、と言うイメージで。グリーンベレーに限った話ではないですが2〜3年は装備に大きな変化はありません。もちろん新製品が発売されたり、部隊によって装備の偏りはあったりしますが、基本的には軍から支給さ

れたキットを使用しています。

ここで気になるのが「今後も新しいものがどんどん出続けるわけだけど現用装備って一体いつで区切るのよ」ってお話。例えばですが、新型のFTHSヘルメットが支給され、露出が増えてきたなと感じたのが去年くらいでした。軍がリリースするニュース資料で予算年度や支給開始はある程度分かることもありますが、実際に普及するには数年かかります。今年になると流石にFTHSの着用比率も高くなり、これまでOPSCOREマリタイムヘルメットを使っていた装備は「ちょっと前」とマニアの中で共通認識になってきます。もちろん今でもマリタイムモデルを着用する部隊はいるのでパチパチ現

用装備ではあるのですが、新しい支給アイテムが普及すると、やはりその装備が欲しくなるもの。主に使うエイミングデバイスもAN/PEQ-15 LA-5からNGALと変化したように、この変化が現用装備の枠の概念が切り替わるキーポイントなのかなと思っています。なんとなく最新装備はコレとコレとコレが必要だよ、ね、と言う共通認識ですね。新たな支給キットが配られた後に使用する装備の変化が起こる。つまり、このタイミングで現用装備の区切りが発生するわけです。もちろん「最新装備が揃わなかったら現用装備ではない！」と言うわけではなく、実際のグリーンベレーらも新旧装備ごちゃ混ぜで使ったり、部隊によって普

及率も全然違うので安心してほしいっす。

#### 変化する装備スタイル

現用装備を追いかけていると年代ごとで使ってるギアって当然ながら徐々に変わってきているなど。2015年頃グリーンベレーマニア間では主流だったSFLCS V2アイテムも今は現場ではほとんど使用されてなく、TYR・TAC-T・ミステリーランチ等が製造する新しいSOFLCSアイテムに切り替わっています。もっと前の話をすると、ギアはマルチカムではなくカーキカラーが支給されていたね。2010年くらいまではEAGLE製MBAVが主流ギアで、付随するSFLCSもEAGLEが主に製造しカーキカラー。そ



# P-1哨戒機

現在着実に配備が進んでいる最新鋭国産哨戒機P-1。  
第4航空群第3航空隊、第1航空群第1航空隊、第51航空隊が運用している。  
今後はP-3Cを全機引退させ、すべての部隊にP-1を配備していく計画だ。  
今回は環太平洋合同演習「リムパック」に参加したP-1の取材を通じ、その全容をご紹介します。

海上自衛隊が配備を進めるP-1。現在配備しているP-3Cは、アメリカで開発されたが、P-1は川崎重工が主契約企業となり、日本の技術力の粋を結集して開発された純国産哨戒機だ。哨戒機とは、哨戒任務（＝パトロール）に当たる航空機の事を指す。当然ながら、海自だけでなく、世界中に存在する多くの海軍（一部では空軍）に配備されている。

主な任務が対潜哨戒だ。上空から「ソノブイ」を投下する。これは、潜水艦のスクルー音を拾う小型のソナー装置で、それを複数投下し、海

面にマス目を作る。目には見えない“ソナーの網”だ。もし、敵潜水艦がその付近にいれば、いずれかのソノブイが反応を示す。その後は、反応を示したソノブイの周辺に新たなソノブイを投下し、より搜索範囲を狭めていく。そして位置を把握できれば、あとはしっかりと追尾していけばよい。その情報は仲間の水上艦艇に伝えられ、魚雷等で敵潜水艦を攻撃する。また、哨戒機も翼の下や機首の真下にあるボムベイ（爆弾倉）に搭載した魚雷や対潜爆弾などで攻撃することも可能だ。さらに、翼の

下には敵水上艦艇を攻撃可能な対艦ミサイルを搭載することもできる。このように、哨戒機はかなり繊細な動きで敵を追い詰め、攻撃するのだ。

P-3Cとの一番の違いは、ターボファンエンジン4発のジェット機としたことである。開発費200億円以上をかけ、見事国産化に成功したF7-IHI-10ターボファンエンジンが動力となる。これにより速度と巡航高度は約1.3倍、航続距離は約1.2倍に伸びた。悪天候でも雨雲の上を飛ぶことができ、長時間の哨戒活動や潜水艦搜索が可能だ。さらに、イージス艦

でお馴染みのフェーズドアレイレーダーを搭載し、全周田警戒も可能となった。もし敵艦が対空ミサイルを発射し、攻撃してきた場合に備えて、ミサイルを欺瞞するためのフレアも装備されている。

2007年9月28日、試作1号機の初飛行に成功した。そして2013年3月29日、第51航空隊（性能調査、試験等を行なう部隊）へと配備された。まず試作1号を含む2機を使い、パイロットや整備員たちの教育や飛行試験等が行なわれ、その後、試作1号機は多用途機UP-1へと改修された。



カネオヘ基地にて離陸準備を進める第3航空隊・第32飛行隊のP-1。この機体の奥に並んでいるのは、米海軍の最新哨戒機P-8。P-1とP-8は、運用コンセプトがほぼ同じなので、非常によく似ている。